

花まるたより

1
2023

- ｜ 高濱コラム
- ｜ 花まる漢字テスト
- ｜ 卒業記念講演会
- ｜ レインボータイム
- ｜ 花まるリビンク
- ｜ 職人の無人島レポート
- ｜ 卒業生物語
- ｜ おはなしのキッチン
- ｜ 平沼純の旅する読書
- ｜ ア/ネ Lounge
- ｜ Rin コラム
- ｜ タカラモノはここに
- ｜ 花まるコラム
- ｜ 花まるファミリー





考える子

住みたい町として、常にトップ争いに入ってくる福岡市。講演などで全国を渡り歩いている私から見ても、買いたいものやおいしい店がすべて揃い、仕事も何でも成立する大都会の良さ、おだやかで温かい人の多い、良い意味での田舎っぽさが両立していて、確かに日本一だなと感じます。それらの良さを支える税収増で、断然の実績をあげたこともニュースになりました。そんな素敵な町に変えた凄腕の市長さんである高島宗一郎さんと、対談しました。

きっかけは、彼が絵本『アヒルちゃんの夢』（エッセンシャル出版社）を出版したことです。市長が絵本？ お気楽に聞こえるかもしれませんが、聞けば、事を成す人物独特の「見えた！」というひらめきがあったそうです。課題は、日本の教育。関係する個人は善良なのだが、ステークホルダーが多すぎて、必要な変革が進まない、岩盤中の岩盤状態を感じていた。たとえば、起業家育成と唱えたところで、旧来の受験システムも変わらないし、結局は「就職」という「雇われる枠組」を選ばせていく基本構造は、一向に変わらない。その岩盤の意識の世間に対して、正確な言葉で論理的に説得したとしても、大多数は動かないし効果は小さい。さあ、どうすべきか…。

一方で、絵画との邂逅とも呼ぶべき、新しい心の変革があったそうです。もともと10段階中の2というくらい、小学生の頃から図画工作の成績も悪く「絵は下手」と思い込んで生きてきた。しかし、たまたまこ数年、モダンアートに心惹かれ、はまることになり、絵画が身近な存在になっていた。そこで、昔から理由もなく描いていた「アヒル」を気楽な気持ちで描いてみたら、なかなか良い。その瞬間、絵本になるかもと直観し、先の教育へのモヤモヤに対しても戦略が見出せた気がした。「絵本なら、理屈での堅苦しい説得ではない、心に響き動かし、意識を変える効果を生み出せるのではないか。子どもだけではなく、一緒に読み聞かせをする親御さんにも、自然でソフトな形で意識改革を促せるのではないか」と。

実際、ヘタウマ系のおかしみのあるキュートな絵で、一羽のアヒルが、飛びたいという情熱をエネルギー源にして、さまざま失敗を乗り越え、クラウドファンディングで資金を集めをし、起業し、成功し、学校を創る物語は、シンプルでわかりやすく、なぜか引き込まれるおもしろい出来栄です。もしかしたら、今後、動かしがたい「民衆の意識や常識の壁」に当たった政治家がマネをする、新しい一手になるかもしれないとすら感じています。

さて、その対談のなかで、考えさせられるやり取りがありました。それは、この国の「失われた30年」と呼ばれるような沈滞や埋没の傾向の根っこにあるのが、豊かさの病であり、空気に流されて自分の頭で考えない「無思考」という話題になったときです。では、一人の若者に、どうすれば「考え抜く経験」を与えられるか、という問いに、高島市長は、言下に「マイノリティの立場になることではないか」と答えたのです。これには膝を打ちました。

たとえば、全体で空気を読み合いながら同じことをしているときには、みんなが無思考になる。集団(国家)の目的が仮に戦後の「経済復興」のような明確なものであるときには、個々に異論を唱えたりしないことが、群れの心理の安定と全体の行動の統一のために、むしろ最適な面もあるかもしれない。しかし、便利で豊かな生活をひとまずみんなが手に入れ、自分の人生は自分の価値観に従って決める、自分という多様性の時代になると、一人ひとりが考えることが大事になる。高島氏いわく、そのためには、たとえば留学すると良い。まっ

たえば、全体で空気を読み合いながら同じことをしているときには、みんなが無思考になる。集団(国家)の目的が仮に戦後の「経済復興」のような明確なものであるときには、個々に異論を唱えたりしないことが、群れの心理の安定と全体の行動の統一のために、むしろ最適な面もあるかもしれない。しかし、便利で豊かな生活をひとまずみんなが手に入れ、自分の人生は自分の価値観に従って決める、自分という多様性の時代になると、一人ひとりが考えることが大事になる。高島氏いわく、そのためには、たとえば留学すると良い。まっ

新刊情報

『いちねんせいえほん
はじめての「よのなかルールブック」』
高濱 正伸 監修, 林 ユミ 絵 (日本図書センター)



『よのなかルールブック』シリーズに【いちねんせい編】が登場！
学校・友達・生活・安全など、楽しい小学校生活を送るために、小学校入学前後に身につけたい42の習慣を紹介しています。「小学校という小さな『よのなか』に出ていくわが子に、どんなことを、どう伝えたいのだろうか?」……そんなお父さん・お母さんを応援する、入学準備の絵本です。

『子育て本ベストセラー100冊の
「これスゴイ」を1冊にまとめた本』
江口 祐子 著 (ワニブックス)



教育分野の一大特徴は、自分の生体体験や子育て経験だけでも何かを言えるので、百花繚乱の主張が溢れることだ。どれも一理あるため、現実に子育て中で、今どうすべきか悩む親としては、決め切れないことも多い。いわば「教育情報のセレクトショップが欲しい」のが、親の本音であろう。本書は、まさにその要望に応える内容。100冊の教育書について、「変わらないもの」と「変えていきたいもの」という視点を基準に、どこが良いのか簡潔に解説している。共働きで時間に追われている夫婦などには、ピッタリの情報源ではないだろうか。

高濱の本棚

たく異なる価値観や宗教を信じる他人のほう
が大多数で、自分こそマイノリティという立
場に、自分事として身を置いたとき、「思考
のスイッチ」は入るのである、という主張で
す。

これは、自分の人生を振り返っても、当て
はまりません。小学校五年生の頃、クラス全員
からいじめられる（いま思えば、彼らは「か
らかってきた」だけでしょう）」という、孤独
で寄り添えない状況になったとき、私は人生
を考え始めました。友達って何？ 学校は絶
対行かねばならない？ 生きていなければな
らないのか？ 私は日記を書きはじめまし
た。特に小六からは、誰にも見せない日記ワ
ールドに、外では見せない本当の（弱い、いや
らしい、妬み深い…）自分の気持ちを言葉に
して書きつけることが、なんとも言えない吐
き出せたスッキリ感と、見えない真実に近づ
いたような充実感につながり、習慣になりま
した。日記はいまも続いています。中学校ま
では、級長であり児童会長・生徒会長でもあ
りましたが、そこに「先生に認められる『良
い子・できる子』を演じている自分」を明確
に見て取っていました。そして、高校からは
完全にその人目や他人の評価を気にする意識
から開放され、誰が何と言おうと自分がおも
しろいと信じることをやる生き方をつかいま
した。ここで言いたいのは、孤立に追い込ま
れたおかげで、自分の頭で考えることにつな
がった、という事実です。

しかし、考えてみれば、もっと普遍的なテー
マは「逆境」ということではないでしょうか。
マイノリティの境遇も一つの逆境。同じよう
に、たとえば経済的苦境も逆境でしょう。な
ぜ戦後の復興期には、本田宗一郎や松下幸之
助、井深大のような世界的な起業家が続々と
生まれたのか。それは「失敗したらゼロ」と
いう、退路を断った真剣な境遇にいたからで
しょう。大企業として安定期を迎え、どちら
かということ「失点のない人が社長になる」傾
向のある会社文化からは、大物は出ない。そ
れは思考の切実さと深さのせいではないで
しょうか。とりあえず失点がなければ食えて
しまう豊かさの落とし穴とも言えるかもしれ
ません。

人生万事塞翁が馬。一見つらい境遇も、一
面では、「思考の深化」「内面の進化」「意志
の強靱化」という実りをもたらす。「苦労は
買ってでもせよ」「可愛い子には旅をさせよ」
「留学は真」「転ばぬ先の杖こそ、一番残忍な
行為」…。表現はさまざまですが、本質は同
じことを言っていると思います。

そういう意味では、祖先たちが「次の時代
こそ、子どもたちの世代が豊かであるように」
「困らないように」「便利に」と願って、宮々
と築き上げてくれた豊かさを、我々は享受し
ているわけですが、豊かで便利であるからこ
そ、一人の子どもを強くするために、「どう
失敗や孤立や挫折の経験を与えるか」が、教
育課題になる時代とも言えるのかもかもしれま
せん。

そして同時に、コロナ禍というひどい逆境
が全体として続いた現代は、着々と強靱な個
人を生み出している面もあるのかもかもしれま
せん。そもそも歴史的に「追い込まれると強い」
国民性もあるし、長い目で見ると、この数年
の環境も悪くないとすら思えてきます。

可愛い可愛いわが子。私自身が、小五の絶
望のないじめの境遇でも、母の「あんたが元
気なら良かとよ」という言葉にこそ支えられ
たと感じています。育ちのどこかで、わが
子が孤立や不遇な目にあつたとき、絶対の味
方でいてあげることが、親として一番大事な
ことで、見失わないでいたいことです。一方
で、ただ騒ぎ立てるのではなく、いまこの子
は強くなるチャンス、思考力を深めるチャン
スにいるんだという「目」も、失わないでい
たいものです。

年末にリリースした、花まる学習会のPV
でも、すぐに助けてくれる親がいなくて、
失敗や挫折の局面で、泣くのだけれども、リー
ダーや仲間が寄り添いによって支えられ乗り
越える場面が出てきます。花まる学習会は、
これこそ「メシが食える大人に育てる」ため
の核心と信じ、今年も雪国スクールやサマー
スクールをはじめ、さまざまな経験の場を提
供していきたいと思えます。
本年も、よろしくお願ひいたします。

花まる学習会高濱正伸

花まる学習会 公式PVができました！

花まるっ子たちの笑顔と躍動、
奮闘をお届けします！



「キミに花まる！」



花まるだより 2023年1月号

(令和5年1月15日発行)

編集・発行 株式会社こうゆう

花まる学習会

発行人 高濱正伸

企画・編集 久慈菜津紀

編集 金井彩・清田奈南

坂田翔・高橋奈穂

デザイン 春日梨沙・西野奈布子

印刷 アークランド株式会社

【小学1～6年生】花漢に向けて～漢字練習～



3学期 HITの時期が近づいています。

お配りする「受験級案内」で、新出範囲を確認し、計画的に練習を進めましょう。『1026字の正しい書き方』（旺文社）に加え、出題形式の参考として、『漢検 漢字学習ステップ』（日本漢字能力検定協会）の活用もおすすめです。「学校で習っていないから」ではなく、「いま覚えちゃおう」という気持ちで、新しい漢字との出会いを楽しんでほしいと思います。



2月 花漢

(花まる漢字テスト)

練習方法の例

熟語で練習する。

	か	か	は	は	花
	び	だ	な	な	
	ん	ん	み	び	

覚える漢字を大きく書く。

は カ

な

読み

部首

く さ かん む り

上や下を隠して覚えているかチェックする。

花	花	花	花
び	だ	見	火
ん	ん	花	花
花	花	見	火
び	だ	花	花
ん	ん	見	火

1～3年生向け

実際に使う熟語で読み書きの練習をします

テスト前には、「読み」や「書き」の部分を隠して、実際に覚えているか確認テストをするのもおすすめです。

漢字練習ノートは、広く見やすく

■「生活」と「遊び」のなかで

子どもがやる気になるのは、「生活」と「遊び」の空間にいるときです。

おうちの人検定を開催したり、街を歩きながら「出合った漢字を読めるかクイズ」を出したりして、漢字に興味を持てるようなきっかけを盛り込んでみてみましょう。

花漢サポートコンテンツ ▶▶▶



4～6年生向け

テストを意識した練習をしましょう

熟語を書くだけでなく、例文も一つ書くようにします。漢字テストでは、たいいてい短文のなかに書き取り部分があるという形で出題されます。どういう文章にその言葉を使うかという意識もしっかりと持って練習しましょう。

■書き取り問題

「書き取り問題」に取り組み、自分が書ける漢字、書けない漢字を確認しましょう。

■ノートに20個の熟語を練習する場合

- ① 5個ずつにわけて練習します。
- ② 1～5個目の書き取りを終えたら、5問テストを行います。
- ③ そこで確実に書き取りができたなら、次の5個へ。間違えた場合は、間違えたものを練習します。
- ④ 6～10個目の漢字で、①～③を繰り返します。10個目を終えたところで10問テストを行います。
- ⑤ 同様に11～15個でまた5問テストを行います。
- ⑥ 最後の20個目までいった後に、20問テストを行います。

正しい漢字を書く
漢字は“正しいかたち”を覚えることが大切。まず、見本を見ながら、正確に漢字を書く。

	15	14	13	12	11
	ダンゴ	カシホン	インタイ	インソツ	コウソク
	団子	貸本	引退	引率	校則
	例 団子、団子、団子、団子、団子	例 貸本、貸本、貸本、貸本	例 引退、引退、引退、引退、引退	例 引率、引率、引率、引率、引率	例 校則、校則、校則、校則、校則
	例 おやつに団子を食べる。	例 貸本をかりる。	例 プロ野球の選手が引退する。	例 先生に引率されて満足に行く。	例 生徒として校則を守る。

こまかく小テスト
5個練習が終わるごとに、見本と練習部分を隠してテスト。そのつど○×チェックをする。

見本を見ながら書く
練習は見本の細部を見ながら書く。声を出しながら手を動かすと記憶に残りやすい。

※まいにち花まるのページから、ちからだし問題や書き取り問題などがダウンロードできます。ぜひご利用ください。



～高濱正伸が卒業生に贈る“最後の花まる授業”～



小学6年生のみなさんへ 卒業記念講演会

「13歳のキミへ～中学時代の過ごし方～」



「メシが食える、魅力的な大人になってほしい」
その想いを込めて、代表の高濱が子どもたちに向けて、
一人の大人としての本音を語ります。

「合わない、と言わない」

『「キライ」と言って楽しまない』

「異性を学ぶ」

「目の前の人をがほほえむように」

開催日時

2023年3月5日(日)
10:30～12:00

視聴方法

YouTube「タカハマチャンネル」で生配信

※開催日が近づきましたら、2023年1月まで花まるグループに在籍していた小学6年生のみなさんへ、視聴URLをメールでお知らせします。

教科書には書いていないこと。

けれども、「中学生になる前にこれだけは伝えたい」こと。

「外の師匠」として、高濱が子どもたちに本音で語ります。

中学生になるみなさんへ

小学校を卒業する前に、みなさんに伝えておきたいことがあります。

勉強への姿勢だけでなく、社会で生き抜くために必要な力や、自分を磨く方法、恋愛の極意…。

「外の師匠」の一人として、これだけは伝えたい“社会で生きる大人の本音”です。

将来、自立して自分の足で歩める大人になるために必要なことを、花まる学習会に通ったみなさんにだからこそ伝えます。一度きりの卒業記念講演会です。当日、ぜひ聴いてください。

花まる学習会 代表 高濱 正伸

花まるを卒業したあとも、イベントは盛りだくさん！

高校生リーダーになろう！

集まれ！
花まるっ子

卒業生イベント

今度はリーダーとして、
子どもたちの挑戦を
サポート！



当時の担当教室長と再会！

高濱正伸スペシャル講演
『卒業生のキミへ』



高校生リーダーの体験談や
イベントへの参加方法は
こちら▶





こんげつ

今月のレインボータイム

出題：坂田翔 (花まる学習会)

【折り紙スタンプ】

折り紙を折ってから、ポン！っとスタンプを押しました。

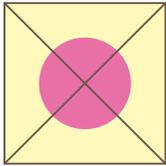
紙を開いたら、どんな模様になるでしょうか。

左の図に合うものを、あ～うの中から選びましょう。

解答はこちら！

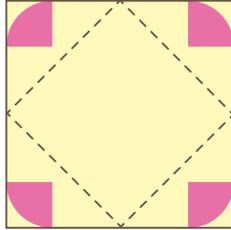


レベル 10

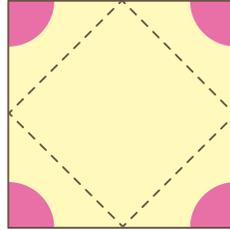


ひら
を開くと…

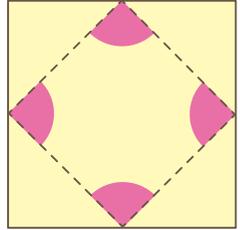
あ



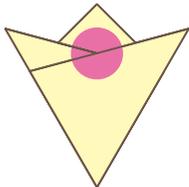
い



う

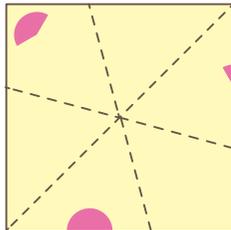


レベル 70

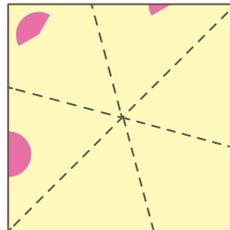


ひら
を開くと…

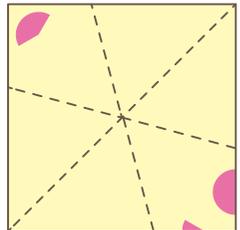
あ



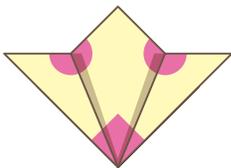
い



う

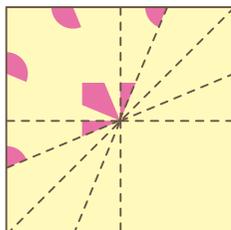


レベル 99

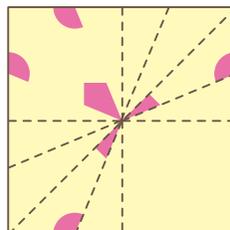


ひら
を開くと…

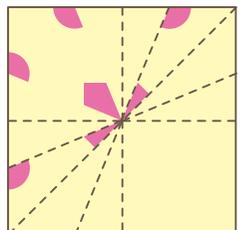
あ



い



う





勝谷 里美

花まる学習会の教室長を担当しながら、花まる学習会や公立小学校向けの教材開発や、書籍出版に携わる。現在は、3児の母として子育てに奮闘中。著書に『東大脳ドリルこくく伝える力編』『東大脳ドリルかんじ初級』『東大脳ドリルさんすう初級』（学研プラス）ほか。



「巻き込む力」——子育てに、信頼できる大人を巻き込む

年長の長男。花まるオンラインでM先生にお世話になっていきます。一キューブと思考実験は大好きですが、文字がまだすらすら書けません。ある日、授業後に「文字のページ苦手なんだよなあ」と言っていたので、「苦手」と自分から言い出したら「まずい！」と思い、毎日ちよつとだけひらがなを書く練習を一緒にしようとしたのですが、うまくいきません。（無理やりではなく、クイズを入れるなど、楽しくやっているつもりなだけだよなあ）と悩んで、M先生に話してみたところ、こんな指令を送ってくれました。



それを見た長男、「M先生のポイント、全部とる！」とがつと前のめりに。手前味噌ながら（花まるの先生すごいな）と思ってしまいました。

二年生の長女も、花まるオンラインでK先生にお世話になっていきます。11月の作文コンテストの日。事前に考えていた題材は「夏休みの最初から最後まで、あったことを全部書く」というもの。書きたいことを書くのが一番。とはいえず、テーマを一つに絞るのが定石だけどうでしょうか……と

悩み、K先生に事前に相談。「一つのものをよく見る、考えるという指導はするけれど、書きたい気持ちを大切にしますね」と言ってもらえて安心。結果、まったくちがうテーマを一つに絞る書きただけでなく、寝る前に、本人が「作文好きになったかもしれない！」と笑っていて、これまたびっくり。親の私が指導してもこんな効果は生まれなかったと思うので、ミラクルだと感動しました。

これらの出来事で私が学んだのは、「花まるすごい」ということではなく（もちろん、それもお伝えしたくはあるのですが……）母の「巻き込み力」が、実は大事かもしれない、という点です。11月のコラムにも書いたのですが、「思い込み」を捨てるちよつと子育てが楽になる。私の場合「私は花まるの先生だから、子育てが得意じゃない」といけない！といった思い込みがあったことに最近気づきました。それを捨てて、「苦手でもいつか！子育てが得意で任せられる人がいたら、巻き込もう」と考えを変えて、一歩踏み出してみる。花まるの先生は、家庭の傍にいるちよつとよい距離感の大人、という点で、とても巻き込みやすい存在でした。

また、「先生に頼る」という言葉よりも、「私の子育てに、先生を巻き込む」という言葉のほうがしっくりくるのも新しい気づきでした。一方的にお任せするのではなく、ベン図が重なり合うように、子どもを中心に、見守る大人を増やしていく感覚です。

私が新人教室長だった頃。授業後に、「さっき昼のニュースでこんな速報があったー先生、授業だったからまだ見てないでしょう？」など、授業以外の話題を多く話しかけてきてくれるお母さんがいました。また、あるお母さんは「花まるでクリスマス会やりませんか？」と企画してくださいました。——ああ、あのとき、お母さんたちは、子どもを中心に、私という先生を、そのご家庭の子育て仲間に『巻き込もう』としてくれていたのかもしれない——と、ふと思いました。

高学年以降「外の師匠」が大事、ということは、高濱もよくお伝えしていますが、それより前の段階からでも、子どもをいろいろな視点で見守る「子育て仲間」がいるに越したことはありません。これから進学、進級と慌ただしい時期ですが、もしちよつとでもお悩みのことがあったら、ぜひ、花まるの先生をこれまで以上に、あなたの「子育て仲間」に「巻き込んで」みませんか？何かのお役に立てることがあれば、とても嬉しく思います。



『やかし村の子どもたち』
アストリッド・リンドグリーン 作
大塚 勇三 訳
岩波書店

「子どもをたくさんの大人で見守る」イメージの本って何だろう、と考えたときに、ぱっと思いついた本です。「家が3軒、子どもが6人」だけのやかし村で、三大家族が入り混じりながら自然のなかで遊ぶ様子はとっても楽しそうで、子どもの頃に読んで憧れていました。

職人の 無人島

レポート 21

「花まる子ども冒険島」開拓のため、カトパンに続いて広島に引っ越した職人。港がある安芸津町に新たな拠点もでき、ますます力が入ります。そんな2人の日々を、現地からレポートします。

引越

2022年4月、私は神奈川県から広島に引っ越した。いや、町田市は神奈川県じゃないから東京からだった。また間違えた。そういえば、投票に行ったら入れようとした候補者の名前がなくて、そこで自分が東京都民だと気づいたこともあった。でも、それくらい私の生活圏は神奈川県に寄っていたから東京の話はされてもわからないし、神奈川県に住んでいたということにしておいたほうが何かと話がスムーズなので、やっぱり私は神奈川県から広島に引っ越した、ということこのまま話を進めていいですか。

引っ越したのはもちろん、無人島開拓のためである。2020年に島の開拓が始まってから二年近くが経ったが、現地に駐在するのは未だにカトパン一人。島の運営をするにあたって、単純にマンパワーが不足していた。それもそのはず、「広島に移住して無人島の開拓をしてほしい」といわれて「待ってました」と答える人間がゴロゴロいるとしたら、その会社はもはや学習塾ではない。そもそも、ふつう塾は無人情を買わない。変わった塾の変わ

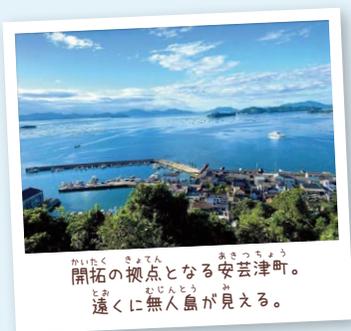
った人間はいねが。そこで、以前からちよくちよく開拓に参加していた私に白羽の矢が立った。というか自ら刺さりに行った。高校では弓道部だった。

とはいえ、周りを見渡せば私の年代は家庭を持ち、何かあれば実家に行ける土地に居を構え、腰を据えて働いている人間が多い。かつては私もそういう人生を歩みつつあったし、並走する電車に自分が映り込むのを見ることもある。本当にこのタイミングで広島に行くのか。迷う、ような気持ち。しかし、最終的に自分が広島行きを決めることは心のどこかでわかっていた。だから本当のところ、それは迷いではなく、自分を納得させるための心の整理だった。『運動の第三法則。前に進むには、何かを後ろに置いていかねばならない』好きな映画のセリフだ。

広島に行くことですっかり捨てることになる可能性がある。その代わりに手にできる可能性がある。それをよく考えるために、私は真冬の丹沢に一人で出かけて、山のなかで火を焚いた。何年かに一度の大きな寒波が来ていて、テントのなかの水が凍りついていて、

すさまじい風と寒さで考え事をするところではなかった。でもそれが答えだった。いまを生きることに必死であれば、ほかのことを考えている余裕なんてないのだ。行く道が決まっているなら、ただ進むしかない。不安なのは、それを自分で選び取ったからだ。自由である以上、不安なのだ。だからこの道は正しい。

そのようにして、私は広島に来た。それが2022年の4月のことである。これから、私が広島に来てからのことをレポートしようと思っ



開拓の拠点となる安芸津町。遠くに無人島が見える。

カトパン 加藤 崇彰

花まる学習会 無人島プロジェクト責任者。学生時代から、花まるの野外体験に深くかかわってきた。現在は広島県へ移り住み、オンライン教室の教室長を務めながら、開拓団の受け入れや無人島開拓の準備を進めている。



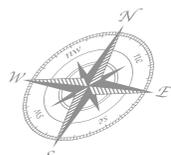
職人 橋本 一馬

花まる学習会関西ブロック教室長。前職が家具職人だった経歴から、「職人」のモデルネームを持つ。その経験を中心に、野外体験「ものづくりの国」、オンライン工作教室など、独特なイベントを担当している。家具製作技能士、狩猟免許など、ちよつと変わった資格や経歴を活かし、「メンが食べる大人」に独自の視点でアプローチを行うことが好き。今回、趣味のキャンプ経験を買われ、無人島開拓に喜んで参加した。



今どうしてる？

卒業生物語



花まる学習会・スクールFC卒業生のその後に迫ります。
第18弾は、子育てをしながら皮膚科医として活躍している、伝説の卒業生にインタビュー!!

ようこそ先輩!!



わたなべ あゆみ
渡辺 愛友さん

【花まる学習会】南浦和教室（小1～）
*担当教室長：高濱正伸
【スクールFC】南浦和校 特算・スーパー算数（小4～6）
【進路】栄東中学・高等学校→女子医科大学
【現在】皮膚科医

■花まる・FCの思い出

高濱 印象に残っている教材・教具はありますか？

渡辺 なぞべーです。いま私には2歳半の娘が、姉には3歳になる娘がいるのですが、子どもが大きくなったらやらせたいと姉とよく話しています。

高 嬉しいなあ。野外体験のことは覚えてる？

渡 最初は私、授業ではなく野外体験ばかり参加していたんですね。

高 そうそう、あの頃は教室に通っていないきょうだいの参加もOKだったから、お姉ちゃんと一緒にね。毎回というくらいよく参加していたよね。

渡 会ったことのない子と一緒に思いっきり遊んで仲良くなって、クワガタ体操をして、そのときにしか味わえない思い出をつかって帰ってくる、という経験をたくさん積ませていただきました。

高 愛友は、コテージのオッチャンに特別にかわいがられていたよね。あと、クワガタ体操が全力で、すごくうまかった。

渡 そういうタイプでした（笑）

高 FCでの日々は、どうだった？

渡 本当の意味で学ぶ楽しさを実感できたのは、医学部に進んでからだだったと思います。自分の好きな分野を学べるのはこれまでに築いてきた土台があるからだと感じるところでもできました。けれどあの頃はまだ、中学受験に対して「やらされる勉強」というイメージが強くて、どうしても好きではない教科も勉強しなければいけないんだろうと思っただこともありました。

高 小学生にとっては大変な部分もあるよね。中学受験の価値は、進んだ先で実感できることも多いよね。

渡 それでも楽しい思い出ばかりなのでFCではのびのびと学ぶことができたんだと思います。

高 あの頃の経験がいまに役立っている、という実感はありますか？

渡 いま、子育てに役立っています。私がさせてもらった経験を自分の子にも、と思いますし、花まるの先生方がすごく盛り上げ上手でたくさん褒めてくださったので、そういう対応や声かけを自分の子にしてあげたいと思っています。高濱先生の子育て本も読んで学んでいます。

高 効果も実感している？

渡 声かけ一つで「やるやる！」ってはりきって挑戦するので、おもしろいです。

高 いいねえ。

■中学・高校生活

高 中学・高校では何に熱中したの？

渡 アーチERYにどっぷりハマりました。

高 なかなかできない経験だね。

渡 高校のときに団体選手になって、インターハイにも出場しました。

高 それはすごいな。

渡 アーチERYに出合えたことも、すごくいい顧問の先生に出会えたことも、厳しい練習や先輩・後輩との関係づくりのなかでたくさん学べたことも、栄東中に進学できたから経験できたことなので、この道に進んで本当によかったと思っています。

高 幸せな道を探すのではなく、進んだ道を幸せな道を探すのでは、進んだ道

を幸せにしていくのが人生だもんね。ちゃんと自分の人生を充実させているところがさすがだよ。

■これからのこと

高 いや、あの愛友がもう医師7年目でお母さんにもなっているとは、これからのことはどう考えているの？

渡 皮膚科の専門医になって、海外に研究留学に行きたいと思っています。

高 おお。

渡 医者とはどんな形であれずっと続けていきたいです。

高 子育て後の人生もあるから、やりたいことをやれるお医者さんになれるように力をつけておくといいよね。これからも楽しみだよ。応援しています！

渡 ありがとうございます！
医師としての日々や家族のことなど、
全編はこちら！





おめでとう！
この黄金切符を
みごとに手に入れたきみに、
ウィリー・ワンカからのごあいさつです。
心をこめて握手！
すてきなかすかが、
きみを待っています！
たくさん不思議な驚きが、
きみを待っています！
このたび、きみを私の工場へ招待し、
まる一日、
お客さまになってもらうのですー

(ロアルド・ダール作／柳瀬尚紀訳『チョコレイト工場の秘密』
評論社より)

『マチルダはちいさな天才』や『魔女がいっぱい』など、
世界中の子どもたちに大人気の数々の物語をつくった
作家、ロアルド・ダール（1916～1990）。映画
『007は二度死ぬ』『チキ・チキ・バン・バン』の脚本
家としても知られ、第二次大戦中は空軍パイロットとし
ても活躍するなど、多彩な経歴の持ち主です（スタジオ
ジブリの宮崎駿さんも、ロアルド・ダールの大ファンで
あるとのこと）。

そんなダールの作品のなかでもとりわけ人気が高いの
は、ティム・バートン監督によって2005年に映画化

もされた、『チョコレイト工場の秘密』です（映画タイ
トル『チャーリーとチョコレイト工場』）。

主人公は、チョコレイトが大好きなのに、家が貧し
くて年に一度の誕生日にしか買うことができない少年
チャーリー。そんな彼が住む街には、ウィリー・ワンカ
氏の「世界一のチョコレイト工場」があり、チャーリー
は幸運にも黄金切符が当たって工場の見学に行けること
に。しかしチョコレイト工場のなかに広がっていたのは、
ワンカ氏がつくり上げた奇想天外な世界でした……。

工場のおかげで起る不思議もおもしろく、ちよつと怖
い出来事に加え、「やり過ぎでしょ!？」と思わず突っこみ
たくなるような、ワンカ氏が「問題児」たちに下す数々
の罰。ダール特有のブラックユーモアが満載で、でも
心躍る物語体験ができること間違いなしの作品。ぜひ
原作小説にも触れて、新たな魅力を感じ取ってください。

また、2月14日のバレンタインデーに向けて、物語に
出てくる「どろりめちゃうまめるるファッジ」「ワンカ
の大珍味びっくりチョコ」「食べられるマシュマロの枕」
などのお菓子を、自分でイメージして再現してみるのも
おすすめ。ダール作品のような自由な発想で、見る人、
食べる人をおどかせるような遊み心満載のお菓子を
つくってみてはいかがでしょう。

平沼 純

PICK UP



『チョコレイト工場の秘密』
ロアルド・ダール 作
クエンティン・ブレイク 絵
柳瀬尚紀 訳
(評論社)



スクールF C
平沼 純



マンディアン風板チョコ

作業時間：15分（固める時間含まず） 難易度：☆☆☆☆

レシピ・写真提供：料理家 江口 恵子（natural food cooking）



材料

(8cm×18cm1枚分)

- チョコレイト（ミルク、ホワイト、ビターなど
好みのものでOK）…………… 150g
- 好みのナッツとドライフルーツ…………… 約 80 g
(今回は、アーモンド、ピスタチオ、パンプキ
ンシード、レーズン、ドライマンゴーを使用)

作り方

- ①チョコレイトを包丁で刻み、ボールに入れる。湯煎にかけ、弱火でじっくりチョコレイトを溶かす。
- ②8×18cm程度のバットやボックスにオープンシートを敷き込み、①のチョコレイトを流し入れる。容器ごと約10cmの高さから2～3回落として平らにならす。
- ③好みのナッツやドライフルーツをまんべんなく散らし、もう一度10cm程度の高さから落として全体をならす。
- ④冷蔵庫に入れて冷やし固め、食べやすい大きさに割るか包丁でカットする。



井田七星・けんしろう | ウェルビーングとは、彼女のためにある言葉なのではというくらい、いつも「この人幸せそうだな」と感じさせてくれる女性。それは子どもたちにとっても、働く同僚にとっても素晴らしいことで、彼女の周りには自然と笑顔が溢れます。私の教室での研修中も、明るい太陽として子どもたちを照らしてくれました。



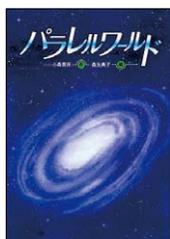
～2023年SF世界への旅～



『アゲハが消えた日』

さいとう ひろし 作
ひらさわ ともこ 絵
(偕成社)

アゲハチョウを見るたびに、「何か」を思い出しそうになる小学生の正。そんな正のまわりで起こりはじめる不可解な出来事。そして正が知った、未来の世界の姿とは……？「とるにたりないような偶然、ひとりひとりのちょっとした考えかたや行動の変化だけでも、歴史の流れは変わる。悪い未来なら変えなくてはいけない。」謎が謎を呼ぶSF風のストーリー展開が魅力で、重苦しいテーマながら力強い希望を感じさせる物語。



『パラレルワールド』

こもり かおり 作
もりともこのりこ 絵
(文研出版)

この世界とは似て非なる並行世界、パラレルワールド。小学生の里菜と斗真は、危機に陥ったさまざまなパラレルワールドをめぐる冒険をくり広げますが……。読んでいうちに、自分がいまいる世界がぐんと広がるような不思議な感覚を味わえること請け合ひの、本格SFファンタジー。意外性のあるラストも印象的。独特な世界観で読者を驚かせた『ニコルの塔』など、著者のほかの作品もあわせておすすめ。



『月おとこ』

トミー・ウンゲラー 作
たむらりゆういち やく
あそくみ やく
(評論社)

月に住む「月おとこ」は、地球の人たちの仲間になりたいと思い、流れ星とともに地球にやってきます。ところが彼を「インベーダー」と思った人々により、ろうやに入れられてしまい……。『すてきな三にんぐみ』『ゼラルダと人喰い鬼』などで有名なウンゲラーによる、SF的な要素も織り込まれたユーモアあふれる快作。「月おとこ、ちょっとかわいそう」と、感情移入しながら読む子どもも多いです。



『小説版ドラえもん のび太と鉄人兵団』

ふじこ・F・ふじお 原作
せな ひであき 著
(小学館)

数あるドラえもん映画の中でも最高傑作との呼び声高い同作を、SF作家瀬名秀明氏（代表作：『パラサイト・イヴ』）が科学的知見も交えた独自の解釈で小説化。宇宙から人間を奴隷化するためにやってきた「鉄人兵団」との絶望的な戦いと、未来への希望が壮大なスケールで描かれます。終盤でのび太たちを陰で支えるアイドル・星野スミレ（パーマン3号）など往年の藤子作品のキャラクターも登場し、かつてドラえもんに夢中になった大人でも楽しめる一冊になっている。



『アームストロング 宙飛ぶネズミの大冒険』

トーベン・クールマン 作
かねはら みずひと 訳
(ブロンズ新社)

勇気と知恵を持ったネズミの冒険を描いたシリーズの2作目（1作目：『リンドバーク』、3作目：『エジソン』）。月は「でっかいチーズ」だと信じられているネズミの世界で、一匹の小ネズミが夜ごと天体望遠鏡をのぞき、月が地球の衛星であることを発見。そして彼は、やがて人類の歴史も変えてしまうような、壮大な月面着陸に挑戦します。ネズミとともに宇宙に飛び出していくかのような、圧倒的な臨場感が味わえます。



3月〈第10回〉「子どもの本の未来 ～『これまで』と『これから』～」

時代とともに変わっていくものと、決して変わらないもの——。世界・日本における子どもの本の流れや最新の児童書を紹介しながら、改めて子どもの本の未来、物語に触れる喜びについて語ります。第1回と同じく、「おうち時間」にも生かせる工夫も豊富に紹介。1年にわたる講座のラストを飾る、「うれしくて楽しい」時間をお届けします！

3/16 (木)・3/18 (土) 10:30～12:00
参加費 一家族500円 (税込)
申込締切 開催前日の19:00

<https://www.schoolfc.jp/extension/j-hiranuma/2022/>

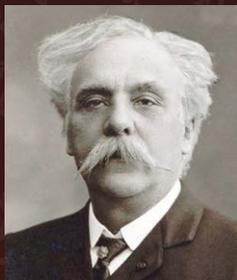


アノネ ラウンジ Lounge

vol.41

ガブリエル・
フォーレ
1845～1924 フランス

アノネ音楽教室の作曲家の人生を辿る伝記教材『オペラ』の一部をご紹介します！クラシック音楽の作曲家を毎回一人取り上げて、名曲が生まれたストーリーに迫ります！



フランク

「私の口の悪さは一生治らない」と言っていた作曲家サン＝サーンスと、およそ60年にも渡って手紙の交換を続けた人がいます。サン＝サーンスの弟子で10歳年下の作曲家ガブリエル・フォーレです。サン＝サーンスからの手紙には時々、お説教が書かれていることもありましたが、フォーレの返事はいつも明るいものでした。「親愛なるカミーユ、貴重な意見をありがとう！今度、夕食をご一緒しませんか。あつかましい弟子より。」こんな朗らかな返事を書いてよこすフォーレだったからこそ、サン＝サーンスもずっと好きでいられたのかもしれない。

1845年5月12日、フォーレはフランスの南にあるピレネー山脈のふもと、アリエージュの街で生まれました。学校の先生だったお父さんはフォーレに音楽の才能があることを知ると、心から応援してくれました。9歳になったフォーレは、パリにある音楽学校で音楽の勉強を始めました。

そして16歳のとき、新しい先生としてやってきたサン＝サーンスと出会うのです。サン＝サーンスからピアノと作曲を習ったフォーレ。サン＝サーンスがその時代の新しい音楽をフォーレに紹介してくれたおかげで、フォーレは自分で作曲をしたいと強く思うようになりました。

20歳で音楽学校を卒業したフォーレは、教会のオルガニストとして働きながら作曲を続けます。この頃に作られた名曲に、歌曲『夢のあとに』があります。フォーレは、一生のうちに100曲以上の歌曲を作っています。フォーレは、詩にぴったり合う、人々の心に届く曲を書く名人。現代で言えば「ソングライター」でもありました。

『レクイエムニ短調』 Op.48 より《サンクトゥス》(1887年)

1887年、フォーレが発表した『レクイエムニ短調』は、人々を驚かせました。「死の恐ろしさが表現されていないじゃないか」「キリスト教らしくない音楽だ」そう言って受け容れられない人たちもいました。けれどもフォーレは、堂々として言い返します。「死は苦しいだけでなく、喜びに満ちた永遠のやすらぎでもあると、ぼくは思う」フォーレの深い考えは、音楽にも深みを与え、誰も作らなかった新しい『レクイエム』が生まれたのです。

それから時が経った1924年、病気のため死の床に臥したフォーレは、二人の息子たちを呼んでこう言いました。「ぼくが死んだら、ぼくの作品によく耳を傾けてくれ。そこに言いたいことがすべて詰まっているから」その2日後の11月4日、フォーレは静かに息を引き取りました。79歳でした。師匠のサン＝サーンスと同じようにマドレーヌ教会で「国葬」が開かれ、フォーレはパリの人々と『レクイエム』の演奏に見送られました。『レクイエム』で表現した、「永遠のやすらぎ」である死を受け入れたその人はいま、パリの土の下で静かに眠っています。

レクイエムニ短調を
聴いてみよう



編集：佐藤 泉純 (アノネ音楽教室)

<https://www.youtube.com/playlist?list=PL7kd0pC6w0ucOxb6xRttYKpIsuzalWxRo>

大塚寛子・メロディ | 熊本出身ということで遠い親戚のような気持ちで見守ってきたのですが、さまざまな壁に当たる新人時代にも、田舎育ちの回復力のようなものがありました。昔はビュア過ぎるかなと感じることもあったのですが、素敵なパートナーと結ばれ、もともと素敵な笑顔に、たぐいまれい輝き加わりました。

こころと頭を
同時に伸ばす
幼児期の子育て

Rinコラム

42

こころが解放される

が変わる。また来年もよろしく願います。」保育士

*

ARTを介した教育のなかでは「自由」とは何か、について、オトナが深く考えることになりました。

自由とは、「自分で決める」ということ。どんな表現も、どんな意見も、等しく尊重されるその空間では、オトナも子どもも関係なく、誰もが対等な表現者として存在を認め合えます。

「ワークシヨップがあった日、娘はよくしゃべり、よく食べ、身のまわりの細かいことに疑問を持ち、とても楽しそうでした。4月から1年生になり、朝も夜も時間との戦い。マイペースに過ごす時間はとても減りました。まだその生活に慣れない娘にとってワークシヨップはオアシスだったのだと思います。心が解放されると、世界が楽しく見えて、たくさんのが吸収できる土台となるんだなあとおもひ強く感じました。」1年生の母

「自分自身も楽しみなから、もうすぐ就学を迎える子どもたちが、どんな意欲的な姿を見せるか楽しみでした。それを目標に観察しました。とにかく『見て見てホラっ』と作品づくりに没頭できていた姿、いろいろな感覚を取り入れながら作品づくりをしていると気づき、大人（保育士）も、子どもも、心が解放されるような学びを得ています。そのなかで約束事がある（ルール）ことを学びました。大人の視点で、子ども

子どもから「ああ、その色、いいね」と、程度の低い称赞の言葉をもたらしたとき、思わず誇らしげな笑みもれる大人の表情。その瞬間を、何度となく見るにつけ、もしかしたら大人のほうが、ありのままを認められ、「それいいね」と称赞してもらえる機会が少ないうちかもしれないと感じました。

自由である環境が担保できると、自分自

身の達成感が生まれるため、お互いを認め合い始めます。結果として、子どももオトナも関係なく、私たちはみな、こころが解放されたと感じるのでしよう。何をやって大丈夫なのだという精神的な安心感のうえに、学ぶ意欲は育ちます。

本来の自分自身というものを自覚し、ありのままの自分を認めてもらえたと感じることは、世界とのかわり方を変え、本来持っていた存在意義や、生きる価値を見出すのかもしれない。

「こころが解放される」。そんな瞬間は、みなさんの経験にもあるでしょう。

音声配信「Rin先生のアトリエラヂオ」シーズン2も始まりました。今年も、子どもたちだけでなく、子どもと接する大人たちと日々ARTを通してかわるなかで、改めて気づかされたことをテーマに、みなさんと一緒に考えていければと思います。どうぞよろしく願います。

Rin（井岡 由実）



Rin（井岡 由実）

花まる学習会取締役、「ARTのとびら」主宰。児童精神科医の稲垣孝氏とともに、心を病んだ青年たちへの専門的な対応に専心。花まる学習会中年長向け教材開発に携わり、冊子『1年生になる前に』では、幼児期に伸ばしたい能力や感性の教育について論じる。著書に『こころと頭を同時に伸ばすAI時代の子育て』（実務教育出版）ほか。

RinせんせいのSNS
ARTのとびらYouTubeなど
すべてのリンクは
こちらから▶



全国から
参加可能!

Atelier for KIDS オンラインARTプロジェクト

2~3月 Atelier for KIDS オンラインART プロジェクト「光のART制作」

参加費 1名4,500円（税込・材料・作品の往復郵送費込）
定員 年長~中学生とその家族50名（先着）※リピーターのみ申込可
申込期間 2/1（水）~2/8（水） <https://www.hanamarugroup.jp/art-edu/news.php>



村田寛典・のりばん | 昔の野球漫画のドカベンを彷彿とさせる風貌。中身も似ていて、シャジャリ出することは決してしない一方で、全体を見渡していて、重要な一手はキチッと打つ仕事師。日本人の良さを具現した人格とも言えるのかもしれない。管理職含め何でもできる人ですが、本人は「教室に生きる」と決意しているようです。

伝えきれないもの

年長のAくんは少しやんちゃな男の子。同じく花まるに通う小学生のお兄ちゃん。の作文にもたびたび登場し、その作文によればおうちでもお兄ちゃんを振りまわしているようです。そんなAくんですが、とびきりかわいいことを言うことがありません。

ある日、「まみむめも」で始まる言葉を書きだしているときのことです。Aくんはまっさきに「まま」と書きました。そして続けてこう言っつのです。

「あ、ママ大好きだから『だいすき』って書こう！」

Aくんは無邪気な笑顔で「まま」の文字の下に同じくらい大きな字で「だいすき」と書いていました。

ここまで自分の気持ちを素直に表すことができるのも、この年代ならではのことだな、と思いました。比喻も助詞すらもない「ままだいすき」という言葉。シンプルに力強く、そして書かれている以上の思いを込めて、全身で発せられた言葉がまっすぐ胸に響きます。恥じらいも何もなくお母さんに甘えられる時期だからこそ許されることかもしれません。小さい子にとっては、本当にお母さんが世

界の中心なのでしょう。

私にもそんな思い出があります。幼い日进行うとき、記憶は断片的になり、前後関係もあやふやなことが多いですが、その日のことははっきりと覚えていてます。その日、私はいつもと違う公園で遊んでいました。当時、一年生で「そこにたまたまたま」という理由だけで面識のない年上のお兄さんと二人きりで遊んでいました。一、二歳がうだけでした

が、子どもの一、二歳は大人の五歳くらい以上に思えるものです。

その子はいろいろなことを知っているように思えました。いまでも覚えていたのですが、その日、遠くで煙が上がっていました。その頃はまだ焚き火も珍しくなく、畑などで雑草を燃やすことのある地域だったので、それが火事かどうかはわかりませんでした。しかしその子は言いました。

「あれは火事だよ。煙が黒いから」

これは翌日知ったことですが、確かに火事だったのです。このように自分の知らないことをたくさん知ってお兄さんと遊ぶのは、少し緊張もありましたが、楽しいものでした。



しかし私はだんだん不安になってきました。空が赤く染まって、あたりが暗くなり始めたのです。「帰ろう」と言っても「まだ大丈夫だよ」と言ってもなかなか帰してくれません。そうこうしているうちにどんどん暗くなり、子どもだけで遊んだことのない暗さにまでなってしまうた。

私は泣きました。その子も乱暴だったわけではありません。ただ、自分としては帰りたいのに、その子の気持ちを裏切るようなことを強く言うこともできず、どうしていいかわからなくなってしまうたのです。理由も言えずわんわん泣く私に、その子も困っている様子で立ち尽くしていました。

そのとき「たかしー！ごはんの時間よー！」と声がありました。見上げると公園へ続く階段の上に、母の姿があったのです。なかなか帰ってこない私を探しに来てくれたのでしょうか。いつもの公園にいなかったたので、心当たりを探しまわってくれたに違いありません。その姿を見た瞬間に、すべての問題が解決したような気持ちになりました。私は「お母さんが助けに来てくれたー」と思い、母に駆け寄りました。どこにいても見つ

けてくれる母の存在を当たり前前に信じていました。その日の母は本当に太陽のように輝いて見えました。

世界中が雨の日も
君の笑顔が僕の太陽だったよ

宇多田ヒカルさんは亡き母に捧げた『花束を君に』のなかで歌います。

どんな言葉並べても
真実にはならないから

大人になり、言葉を知れば知るほど、親の愛の深さを知れば知るほど、伝えきれないものがあふれてしまいます。「ままだいすき」と飾りのない言葉と同じだけの質量を持った言葉を、大人になった私にはなかなか見つけることができませぬ。無邪気にお母さんに甘えている子どもたちを見ていると、気持ちを素直に伝えられることが少し羨ましくも思えてきます。

花まる学習会 山崎隆



山崎 隆 Yamazaki Takashi

東京東ブロック教室長。千葉県の内陸部出身。2歳上の姉と3歳下の弟と、ただっぴろい関東平野の片隅で育つ。小さい頃、外遊びはもちろんだが室内で遊ぶのも好きで、図鑑を開いては恐竜の世界を想像していた。高学年の頃より伝記を通して歴史に親しむ。休みの日には、青春18きっぷで目的もなく出かけることを楽しみにしている。

大丈夫だよ

一年生Aくんの連絡帳に、お母さんよ
り「仕事を始め、わが子とかかわれる時
間が短くなってしまった」ということが
書いてありました。以下、掲載のご了承
をいただいた連絡帳の一部を抜粋します。

一日があつという間に過ぎてしまい、
子育てがおろそかになっていないかな
ど不安になることも…。そんなときに、
Aの作文を読みました。「書いてくれ
の？」と聞くと「うん、いつもありが
と私のことをギュッと抱きしめてくれ
ました。」

連絡帳に記入ができないでいると「マ
マ、大丈夫だよ」と言ってくれます。私
が家に帰るのがギリギリなので、行きは
花まるまで自転車で行って降ろすだけ
なつてしまつても「大丈夫だよ」と言っ
てくれます。駅から花まるまで歩く道が
大好きだったのに…。たくさんの「大丈
夫」をもらい、私も家族を支えられて
いるんだな、と心が温かくなります。

年中コースの頃からAくんをお預かり
し、はや三年。成長を間近で見えまし
た。常にAくんとともにあったのは、お

母さんの存在です。連絡帳を通じて、A
くんが気づいたこと、感じたこと、話し
たこと…たくさん教えていただきました。
まさに成長日記と言えます。本来であ
れば、お母さんとAくんだけの世界ですが、
そこに少しだけお邪魔させてもらった気
がしています。そんな「以前」を知つて
いるからこそ、「連絡帳に記入がで
きない」というお母さんの葛藤が
痛いほど伝わってきました。

一方のAくん、今回の連絡帳の
前日譚があります。それは、遡る
こと一か月ほど前。教室到着時か
ら俯きがちで、目を合わせようと
しない日がありました。明らかに
様子がおかしいのです。宿題であ
る「あさがお・サボテン」という
教材を頑なに出そうとせず、つい
には机に伏して固まつてしまいま
した。ふと教室の外に目をやると、
お母さんが心配そうな顔でこちら
を見えています。すぐさまお母さんに話を
聞くと「あさがお・サボテンの丸つけが
できなかった」とのこと。Aくんのとこ
ろに戻り、カバンから冊子を取り出しま
す。確かに丸つけの跡はありません。す
ると、Aくんはパッと顔を上げ、冊子を
掴み、泣きじゃくりながら「丸つけして

花まるコラム

2023年1月

ほしかったのに…!!」とお母さんにぶつ
かっていったのです。お母さんが仕事を
始め、忙しいことはわかってる。ただ…
ただ…それでも…。グツと我慢していた
ものが堰を切ったように溢れ出しました。
そこからは何も言葉にはならず、お母さ
んの腕の中で泣き続けていました。これ
はAくんにとっては大きな一歩。
抱えきれない想いをついに吐露す
ることができたからです。Aくん
の背中をさすりながらお母さんが
言いました。「お母さん、大丈夫
だよ。これからは丸つけもできる
よ」と。

そう、連絡帳に記されたAくん
の「大丈夫」の前に、お母さんか
らAくんに届けた「大丈夫」があつ
たのです。「わかっている、でも
…」という言葉にできない想いを
氷解させたのは、紛れもなくお母
さんの一言です。想いを受け止め
てもらったあの瞬間、明らかにAくんの
心は変わりました。
話は戻って、お母さんからの連絡帳。
こう締めくくられていました。
「帰りはゆっくり歩いて帰りたいと思いま
す」

花まるから家までは歩いて15〜20分程の

距離。Aくんとお母さんにとっては、何
ものにも代え難い時間です。当たり前だ
と思っていたことは当たり前じゃない。
いろいろな想いがあった、その当たり前
がつくられているのだと、いまさらなが
ら気づかせてもらいました。

そんな時間を経て、Aくんの想いの詰
まった「作文」をこちらに紹介します。
お母さんが連絡帳で言及している作文で
す。

ままいつもありがとう
いつもいろいろありがとう。ごはんもお
いしいです。せんたくや、おそうじあり
がとう。おかげでうちにはきれいです。
ほんとにありがとう。

環境が変わり、かわり方が変わつて
も、相手を想う気持ちは不変です。たと
えボタンを掛け違つたとしても、心と心
が重なり合えるきっかけがあれば、きっ
と大丈夫。教室がそんなきっかけを生む
場となるように。そんな願いも込めてこ
のコラムを届けます。

花まる学習会 高橋大輔



はな きょうしつちやう しょうかい
花まるの教室長を紹介します！

花まるファミリー

FC …スクールFC アノネ音楽教室 アルゴ …アルゴクラブ オンライン 無人島 Flos …フロス 英語花まる

みんなの教室長も順番に紹介するよ。お楽しみに！



いちざわ たいが
市沢 大我

中京 富山県



かとう みやの
加藤 美耶乃

神奈川県北 東京都



かみた えむ
紙田 笑夢

神奈川県南 東京都



たかの ゆうたろう
高野 優太郎

東京南 埼玉県



なかざと あかり
中里 明理

東京南 千葉県



はやし けい
林 飛翔

東京西 京都府



ひらやま まさやす
平山 真康

中京 愛知県



ふなはし めい
船水 萌

千葉 東京東 埼玉県



みずの さちこ
溝部 祥子

関西 兵庫県



もり たちひろ
森田 千宏

関西 大阪府



もり ふと
森田 風斗

関西 兵庫県



やまざし りょうた
山岸 亮太

アルゴ 埼玉県



たかはし まさひろ
高濱 正伸

○○○ 熊本県

リーダーネーム
名前
所属
出身地

サマースクールや雪国スクールで会おうね！

1月の誕生花は **シンビジウム**



高濱が、花まる教室長をちょっとおちゃめに紹介する新コーナー！自己紹介ならぬ他己紹介で、花まるの仲間たちを一年かけてまるっと紹介しちゃいます。どうぞお楽しみに！